

ソフトウェアシンポジウムの投稿要領について

荒木 啓二郎
熊本高等専門学校
ss2026inquiry@sea.jp

富松 篤典
電盛社
ss2026inquiry@sea.jp

要旨

このテンプレートはソフトウェアシンポジウム用に作成されました。テンプレートに不備がある可能性もあるので、その際はなるべくこの書式に合う形で記述して下さい。

1. はじめに

この Word テンプレートはソフトウェアシンポジウム用に作られたものです。

冒頭の表題部分は、1 列の表になっていて、日本語の表題・著者・アブストラクト、英語の表題・著者・アブストラクトを書くための 6 行があります。表題・著者・アブストラクトにはそれぞれ同名の Word スタイルが用意されています(日本語・英語共通)。

2. 文書体裁について

2.1. テキストのレイアウトについて

本文は二段組み、標準スタイル(9pt, 行間隔は 13pt, MSP 明朝+Times Roman)になっています。各段落は段落頭にインデントがつけます。

2.2. 句読点について

句読点には全角の「,」,「.」を用います。

2.3. 参考文献について

参考文献記載用に「参考文献」スタイルが定義されています。TeX のようにクロスリファレンスで自動的に番号を付けるには、ブックマークと相互参照を使う方法があります。古い Word では相互参照は、クロスリファレンスになります。

下の例では、参考文献の Design Patterns のパラグラフの最後に “DesignPattern” というブックマークを定義して

います。これに対して相互参照で、「参照する項目」に[ブックマーク],「相互参照の文字列」に[段落番号]を選び、参照先のブックマークを指定して[挿入]します。これを実際に行ったのが次の文です: デザインパターンの文献は [1] です。古い Word では数字を[]で囲む必要があります。参考文献を増減してもすぐには番号が変わりませんが、挿入した相互参照上で F9 (または Alt-Shift-U) を押すと更新されます。

参考文献

- [1] Gamma, E. et al. *Design Patterns: Elements of Reusable Object-Oriented Software*, Addison-Wesley, 1995
- [2] 岸知二, 中所武司編, オブジェクト指向最前線 情報処理学会 OO'97 シンポジウム, 朝倉書房, 1997